

## 2024年12月 旅行取扱高状況報告

＜ 日本国内における旅行区分別取扱高 ＞

(単位：千円)

区分	取扱高	前年同月取扱高	前年同月比
海外旅行	27,429,123	21,772,482	126.0%
国内旅行	3,673,416	3,160,858	116.2%
訪日旅行	964,711	747,994	129.0%
合計	32,067,251	25,681,336	124.9%

※株式会社エイチ・アイ・エス及びグループ5社（株式会社オリオンツアー、株式会社クオリタ、株式会社クルーズプラネット、株式会社ジャパンホリデートラベル、株式会社エイチ・アイ・エス沖縄）の社内取引を相殺した旧会計基準の取扱高となります。

### ■ 海外旅行

海外航空券とホテルを自由に組み合わせる海外航空券＋ホテルの新ブランドとして、「AirZ」(エアーズ)の販売を開始。多様な選択肢による自由自在な旅行プランの提供に加え、海外58ヶ国110都市に展開する海外拠点による24時間日本語サポートなどを通じて、他社との差別化を図りました。また、HIS最大規模のセールである「初夢フェア2025」を展開。春休みやGW、初夏の出発を中心に、価格重視の商品から高付加価値の商品まで、様々な旅行プランを提供しました。

取扱高においては、最大9連休の年末年始効果がみられ、長距離方面の欧州・中近東・アフリカ方面が前年同月比149.6%と好調に推移しました。送客人数を牽引する韓国では、一時、政治的混乱があったものの、前年同月比102.0%と前年を上回りました。また、中国が日本人の短期訪中ビザの免除を再開したことから、上海を中心に間際の渡航需要が増加し、前年同月比107.0%と回復の兆しがみられました。

以上の結果、海外旅行取扱高は、前年同月比126.0%の274億2,912万円となりました。

### ＜ 海外旅行取扱高 方面別・商品別・チャネル別データ ＞

方面別	前年同月比
アジア	122.2%
オセアニア・南太平洋	136.4%
ハワイ・ミクロネシア	98.5%
欧州・中近東・アフリカ	149.3%
北米・中南米	123.9%

商品別	前年同月比
手配旅行	115.7%
企画旅行	144.6%

チャネル別	前年同月比
店舗	134.2%
オンライン	125.8%

### ■ 国内旅行

強化方面である九州において、長崎キャンペーンを実施。ドラマのロケ地として話題の「長崎・軍艦島（端島）」をはじめ、温泉街など様々なプランや、夜景・世界遺産・グルメ・イベントから選べる特典やホテルの客室アップグレードなどのホテル特典、早期予約割引などにより、集客強化を図りました。また、HIS「初夢フェア」では、特別施策として、最大20%OFFの「初夢ウルトラクーポン」を実施しました。

取扱高においては、最大9連休の年末年始効果により、沖縄・北海道行きが牽引。特に北海道が前年同月比127.1%と好調に推移しており、札幌発の旭山動物園への日帰りバスツアーの運行を11月末にスタートしたことが奏功しました。

以上の結果、国内旅行取扱高は、前年同月比116.2%の36億7,341万円となりました。

### ■ 訪日旅行

鹿児島県・ベトナム航空と観光促進にむけた連携協定を通じて、ベトナム・ハノイから鹿児島行きベトナム航空のチャーター便を2024年の3月以来の運行として展開し、相互間の交流促進を図りました。

取扱高においては、北米からの団体旅行の受客において、東京・京都・大阪といったゴールデンルートのツアーの受客が増加しており、前年同月比254.6%と取扱高を牽引しました。一方、個人旅行においては、ジャパンホリデートラベルによる札幌発の旭山動物園行きの日帰りツアーが6,000名以上の集客となるなど人気を博しており、そのほか冬限定のスキーツアー関連のツアーが好調に推移しました。

以上の結果、訪日旅行取扱高は、前年同月比129.0%の9億6,471万円となりました。

2024年12月の日本国内における旅行取扱高合計は、前年同月比124.9%の320億6,725万円となりました。

## 2024年12月 海外における旅行取扱高状況報告

< 海外における旅行区分別 >

(単位：千円)

区 分	取 扱 高	前年同月取扱高	前年同月比
インバウンド	11,091,068	8,914,785	124.4%
アウトバウンド	12,411,682	14,388,662	86.3%
合 計	23,502,749	23,303,447	100.9%

※エイチ・アイ・エス海外現地法人 32 社と海外子会社 4 ブランド (MIKI グループ、MERIT TRAVEL、JONVIEW CANADA、RED LABEL VACATIONS) の社内取引相殺前の取扱高となります。なお、為替換算レートにつきましては、期中平均レートにて算出しております。

※海外におけるインバウンドとは、各海外拠点における旅行受客業務の取扱高。海外におけるアウトバウンドとは、各海外拠点における旅行送客業務の取扱高。

### ■ 海外インバウンド

ドイツでは、クリスマスマーケットを目的としたレジャー需要が高まり、日本からのパッケージツアーの受客が増加したことで、前年同月比 142.5%となりました。イタリアでは、12月24日から始まった25年に一度開催される「パチカンの聖年」を目的としたアジアからの巡礼ツアーの受客が増加、また、日本からの添乗員同行ツアーの受客が大幅に増加したことで、前年同月比 155.5%と好調に推移しました。また、ベトナムでは、日本の年末年始 9 連休といった日並びの良さの影響により、ダナンへの単独チャーター便 3 本、他社共同運航チャーター便 3 本の他、ハノイへの単独チャーター便 1 本の就航による受客が増加し、前年同月比 131.7%となりました。

以上の結果、海外インバウンド取扱高は、前年同月比 124.4%の 110 億 9,106 万円となりました。

### ■ 海外アウトバウンド

オランダでは日本行きのツアー商品がファミリー層に人気を博し、特に京都や奈良を巡る関西地方への送客数が大幅に増加したことで、前年同月比 374.0%と好調に推移しました。アメリカでは、航空券販売の他、学生向けの日本行き観光旅行プログラムのジャパントレックが取扱高に大きく貢献し、前年度同月比 157.9%となりました。また、取扱高を牽引するカナダでは、景気低迷の影響に加え、コロナ後の旅行需要が落ち着いたことにより、前年同月比 86.3%となりました。

以上の結果、海外アウトバウンド取扱高は、前年同月比 86.3%の 124 億 1,168 万円となりました。

2024年12月の海外の旅行事業取扱高合計は、前年同月比 100.9%の 235 億 274 万円となりました。

#### 本件に関するお問い合わせ先

株式会社エイチ・アイ・エス      I R室：050-1746-4188  
 広報室：050-1746-4177